

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)粕谷 俊昭
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)篠原 顕二郎 (TEL) 076(277)7530
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	615	—	△114	—	△101	—	△61	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
(注) 包括利益	2021年3月期		△63百万円 (—%)		2020年3月期		—百万円 (—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△5.69	—	△7.1	△5.6	△18.7
2020年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 —百万円 2020年3月期 —百万円

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値及び対前期増減率は記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,816	867	47.6	58.00
2020年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年3月期 865百万円 2020年3月期 —百万円

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△101	135	377	480
2020年3月期	—	—	—	—

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

※2021年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の配当性向(連結)、純資産配当率(連結)の数値は記載しておりません。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
第2四半期(累計)	409	—	△26	—	△20	—	△21	△1.40	
通期	1,015	64.9	1	—	9	—	5	0.33	

※2021年3月期は、連結子会社の株式のみなし取得日を連結会計年度の末日としているため、当連結子会社の業績は含まれておりません。また、2021年3月期第2四半期(累計)は、連結開始前であることから連結財務諸表を作成しておりませんので、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	15,193,394株	2020年3月期	9,037,700株
2021年3月期	243,974株	2020年3月期	394,135株
2021年3月期	10,752,002株	2020年3月期	8,644,178株

(注) 1. 2020年6月6日を効力発生日として1株を7株とする株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 2020年11月27日を振込期日とする株主割当増資により、発行済株式総数が6,155,694株増加しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	615	4.3	△112	—	△99	—	△61	—
2020年3月期	590	29.9	△59	—	△48	—	△49	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△5.69	—
2020年3月期	△5.74	—

(注) 2020年6月6日を効力発生日として1株を7株とする株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	1,682	—	867	—	51.4	—	58.00	
2020年3月期	1,328	—	465	—	35.1	—	53.91	

(参考) 自己資本

2021年3月期 865百万円 2020年3月期 465百万円

(注) 2020年6月6日を効力発生日として1株を7株とする株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	341	7.3	△20	—	△21	—	△1.40	
通期	870	41.4	9	—	5	—	0.33	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因より大きく異なる可能性があります。なお、上記予測に関する事項は、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、極めて厳しい状況で推移いたしました。先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じつつ、経済活動の段階的な引き上げや各種政策の効果により持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、より一層不透明感が増しております。

当社は、2021年1月に2022年3月期から2024年3月期を対象期間とする新中期経営計画を策定し、紡績事業及びテキスタイル事業の強化に取り組むとともに、新規事業としてヘルスケア事業をかわきりとしたプラスチック廃材のリサイクル事業開始への取り組みを推進し、業績改善に努めております。

また、当連結会計年度において株式会社中部薬品工業の全株式を簡易株式交換により取得いたしました。株式会社中部薬品工業は、歯磨き粉パウダー、健康茶、のど飴及び肝油ドロップ等のヘルスケア商材を国内大手ドラッグストアチェーン、国内大手ECサイト及び中国大手越境ECサイト等といった国内外に販売するビジネスを展開しており、今般の子会社化によりヘルスケア事業の成長スピードを速めることで、新規事業領域における収益向上につなげ、経営基盤の更なる拡充を図ってまいります。

このような状況の中、当連結会計年度の業績は、売上高615,391千円となり、営業損失114,830千円、経常損失101,830千円、親会社株主に帰属する当期純利損失61,214千円となりました。

なお、当社グループは、当連結会計年度が連結初年度であり、連結子会社の企業結合日（みなし取得日）を当連結会計年度末としているため、当連結会計年度においては連結範囲に含めた子会社の業績は含まれておりません。

事業別の業績は次のとおりであります。

(紡績事業)

紡績事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による需要減少の影響を受け、非常に厳しい状況が続きました。当社の主力であるアラミド繊維の主用途である自動車生産動向は当第3四半期に入り回復基調となりましたが、受注量の回復には数ヶ月のタイムラグがあり受注回復には至りませんでした。また、高級インナー用紡績糸につきましても在庫過多により受注は伸びず落ち込みました。

この結果、紡績事業の当連結会計年度の業績は、売上高268,993千円、営業損失22,691千円となりました。

(テキスタイル事業)

中東向け生地販売も新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなる前に成約を進めることができたため、概ね順調に推移いたしました。ただし、現地の在庫は増加した状態が続いており、今後の販売状況を注視する必要があります。東南アジア向けの商売も同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、マーケットの回復には時間がかかりそうな状況であります。その中で、インターネット販売などが徐々に進み、以前とは異なった販売形態が構築できている取引先からの受注があり概ね順調に推移いたしました。

この結果、テキスタイル事業の当連結会計年度の業績は、売上高337,297千円、営業利益11,286千円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用98,103千円であり、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2021年3月期より連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同期との比較は行っておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、1,816,790千円となりました。主な内訳は、現金及び預金480,230千円、受取手形及び売掛金60,589千円、商品及び製品40,441千円、有形固定資産928,284千円及び投資有価証券225,587千円であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、949,719千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金52,381千円、短期借入金451,500千円、長期借入金123,849千円、繰延税金負債24,345千円及び再評価に係る繰延税金負債202,560千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、867,071千円となりました。主な内訳は、資本金929,449千円、資本準備金228,044千円、利益剰余金△758,538千円、その他有価証券評価差額金55,580千円及び土地再評価差額金443,577千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（「以下「資金」という）は、480,230千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金は101,688千円の減少となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失△75,048千円、減損損失27,557千円、投資有価証券売却損益△54,338千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金は135,010千円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入120,379千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入45,434千円、有形固定資産の取得による支出△29,718千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金は377,235千円の増加となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出△50,000千円、株式の発行による収入430,898千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期
自己資本比率	47.6
時価ベースの自己資本比率	172.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0
インタレスト・ガバレッジ・レシオ	0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響には注視するも、昨年末から自動車生産の急回復で既存事業の紡績事業において、主銘柄であるアラミド繊維の受注量が急回復しております。一方、テキスタイル事業は現在も新型コロナウイルス感染症の影響により、中東渡航規制で商談を困難としており、それを補うため東南アジア向けの拡販及び銘柄の新規追加などの施策を行っております。

新規事業である「ヘルスケア事業」「リサイクル事業」については、M&Aを中心とした施策で業績に反映させる方向で進んでおります。そのほか現在別の新規事業を検討中であり、目途が立ち次第発表させていただく予定であります。

次期見通しにつきましては、紡績事業の受注回復、テキスタイルの更なる拡販、ヘルスケア事業・リサイクル事業などの新規事業の業績への追加貢献により、売上高1,015百万円（前連結会計年度比64.9%増）、営業利益1百万円（前連結会計年度は114百万円の営業損失）、経常利益9百万円（前連結会計年度は101百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益5百万円（前連結会計年度は61百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を予想しております。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は新型コロナウイルス感染症の影響や、その他の要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、第96期から連続して営業損失を計上しており、当連結会計年度においても114,830千円の営業損失を計上し、営業キャッシュ・フローも101,688千円のマイナスとなっております。こうした状況から当社には継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、2021年1月に2022年3月期から2024年3月期までの新中期経営計画を策定し、以下の対応策を実施しております。

① 紡績事業及びテキスタイル事業の強化

紡績事業は、取引先との連携強化、研究開発の迅速化により高機能繊維の開発に取り組むとともに、抗菌・抗ウイルス糸の開発及び早期上市に取り組み、自社ブランドの確立を図ってまいります。

テキスタイル事業は、グレードの多様化及び他地域への販路拡大で販売強化してまいります。

② 新規事業の早期実現

ヘルスケア事業は、「KITABO」ブランドによる不織布マスクの製造販売に加え、M&Aによる事業基盤作り及び健康補助食品の販売強化に取り組んでおります。

リサイクル事業は、自社でのリサイクル設備の導入に加え、M&Aによる本格参入を目指します。

③ キャッシュ・フローの改善

資金面では、株主割当増資により調達した資金を有効に活用し、キャッシュ・フローの改善を図ってまいります。

これらの対応策を進めることにより、当連結会計年度末において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、当面は日本基準を適用しておりますが、今後の議論の深まりや同業他社のIFRS採用状況を鑑みて、IFRSの導入を検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		480,230
受取手形及び売掛金		60,589
商品及び製品		40,441
仕掛品		5,051
原材料及び貯蔵品		12,942
その他		49,940
流動資産合計		649,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		621,175
減価償却累計額		△586,481
建物及び構築物（純額）		34,693
機械装置及び運搬具		1,467,128
減価償却累計額		△1,398,212
機械装置及び運搬具（純額）		68,916
土地		812,288
リース資産		8,307
減価償却累計額		△4,195
リース資産（純額）		4,111
その他		55,858
減価償却累計額		△47,585
その他（純額）		8,273
有形固定資産合計		928,284
無形固定資産		
ソフトウェア		691
リース資産		0
電話加入権		0
無形固定資産合計		691
投資その他の資産		
投資有価証券		225,587
敷金及び保証金		13,030
投資その他の資産合計		238,617
固定資産合計		1,167,593
資産合計		1,816,790

(単位：千円)

当連結会計年度
(2021年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	52,381
短期借入金	451,500
1年内返済予定の長期借入金	16,116
リース債務	1,048
未払消費税等	7,370
未払法人税等	7,945
賞与引当金	5,378
その他	39,624
流動負債合計	581,363
固定負債	
長期借入金	123,849
リース債務	5,140
繰延税金負債	24,345
再評価に係る繰延税金負債	202,560
退職給付に係る負債	12,000
その他	460
固定負債合計	368,355
負債合計	949,719
純資産の部	
株主資本	
資本金	929,449
資本剰余金	228,044
利益剰余金	△758,538
自己株式	△32,828
株主資本合計	366,126
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	55,580
土地再評価差額金	443,577
その他の包括利益累計額合計	499,158
新株予約権	1,786
純資産合計	867,071
負債純資産合計	1,816,790

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	615,391
売上原価	587,695
売上総利益	27,696
販売費及び一般管理費	142,527
営業損失(△)	△114,830
営業外収益	
受取利息	15
受取配当金	8,518
不動産賃貸料	10,264
為替差益	6,037
助成金収入	8,278
その他	2,435
営業外収益合計	35,549
営業外費用	
支払利息	10,971
新株発行費	10,324
その他	1,252
営業外費用合計	22,548
経常損失(△)	△101,830
特別利益	
投資有価証券売却益	54,338
特別利益合計	54,338
特別損失	
固定資産処分損	0
減損損失	27,557
特別損失合計	27,557
税金等調整前当期純損失(△)	△75,048
法人税、住民税及び事業税	4,440
法人税等調整額	△18,274
法人税等合計	△13,834
当期純損失(△)	△61,214
非支配株主に帰属する当期純利益	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△61,214

連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
当期純利益	△61,214
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,215
土地再評価差額金	△3,059
その他の包括利益合計	△1,843
包括利益	△63,058
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△63,058
非支配株主に係る包括利益	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,000	1,257	△697,324	△52,968	△35,035
当期変動額					
新株の発行	215,449	215,449			430,898
株式交換による増加		11,337		20,221	31,558
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△61,214		△61,214
自己株式の取得				△80	△80
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	215,449	226,786	△61,214	20,140	401,162
当期末残高	929,449	228,044	△758,538	△32,828	366,126

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	土地再評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	54,365	446,636	501,002	—	—	465,966
当期変動額						
新株の発行						430,898
株式交換による増加						31,558
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△61,214
自己株式の取得						△80
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,215	△3,059	△1,843	1,786		△57
当期変動額合計	1,215	△3,059	△1,843	1,786	—	401,104
当期末残高	55,580	443,577	499,158	1,786	—	867,071

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失	△75,048
減価償却費	8,704
受取利息及び受取配当金	△8,533
支払利息	10,971
減損損失	27,557
投資有価証券売却損益 (△は益)	△54,338
売上債権の増減額 (△は増加)	6,051
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,739
前渡金の増減額 (△は増加)	△15,814
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,725
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,515
その他	△3,691
小計	△97,672
利息及び配当金の受取額	8,533
利息の支払額	△10,677
法人税等の支払額	△1,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	120,379
有形固定資産の取得による支出	△29,718
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	45,434
敷金及び保証金の差入による支出	△1,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	135,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
長期借入金の返済による支出	△4,320
リース債務の返済による支出	△1,048
株式の発行による収入	430,898
新株予約権の発行による収入	1,786
自己株式の取得による支出	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	377,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	414,704
現金及び現金同等物の期首残高	65,526
現金及び現金同等物の期末残高	480,230

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離した財務情報が入手可能であり、当社取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、紡績事業及びテキスタイル事業を報告セグメントとしております。

「その他」において、ヘルスケア事業を営む株式会社中部薬品工業を2021年1月12日付で完全子会社化いたしました。みなし取得日を2021年3月31日としているため、連結貸借対照表のみ連結の範囲に含め、連結損益計算書の通期業績には含めておりません。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「紡績事業」は主に合繊紡績糸の製造及び販売を行っております。

「テキスタイル」事業は主に中東向け民族衣装用生地の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、財務諸表の作成上採用した方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
	紡績事業	テキスタイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	268,993	337,297	606,290	9,100	—	615,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	268,993	337,297	606,290	9,100	—	615,391
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△22,691	11,286	△11,404	△5,322	△98,103	△114,830
セグメント資産	806,300	71,050	877,351	172,780	766,658	1,816,790
その他の項目						
減価償却費	6,546	—	6,546	449	1,708	8,704
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	10,755	—	10,755	43,867	7,639	62,262

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まない事業セグメントであり、新規事業であります。

2. 「調整額」の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
全社資産は、現金及び預金、投資有価証券及び管理部門等に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社部門等に関する設備投資であります。

【関連情報】

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
帝人(株)	172,034	紡績事業
帝人フロンティア(株)	130,542	紡績事業、テキスタイル事業
(株)クラボウインターナショナル	62,628	テキスタイル事業
GEDEEKAY INTERNATIONAL	93,781	テキスタイル事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当連結会計年度において「その他」で減損損失27,557千円を計上し、当期末残高はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	58.00円
1株当たり当期純損失(△)	△5.69円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△61,214
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△61,214
普通株式の期中平均株式数(株)	10,752,002

(重要な後発事象)

該当事項はありません。